



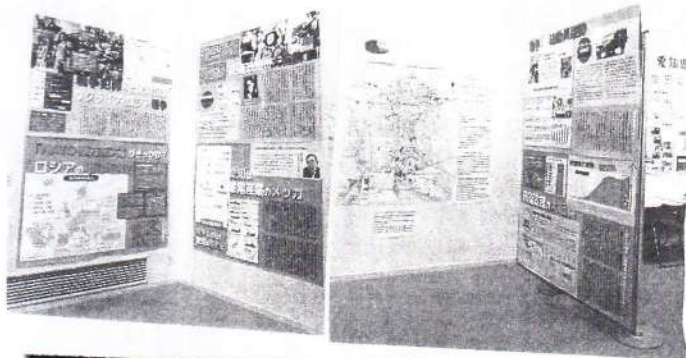
残暑お見舞い申し上げます

* 今月の花
ペパーミント

★名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会



↓★渾身! 「高校生の平和活動」「沖縄」「ウクライナ」



愛知から
世界へ
戦争と平和
考える素材
タビタ

2023 あいち・平和のための戦争展

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうに」
(日本国憲法前文)

蘇る! 空襲で燃える前の
栄と大須の姿
～戦時下名古屋の防空防火改修区域見取図

特別寄附品を
まじりて展示し
ました。会場
で販売します

戦争で被害を受けた
市民の苦しみと
戦時下の生活

栄と大須の姿

とき 8月10日(木)～13日(日)

10:00～17:00 (入場受付は終了30分前まで)

ところ 市民ギャラリー矢田
(ハナテラシロード1-6北角)
地下鉄有楽町線「矢田駅」徒歩5分
7番出口南へ徒歩5分

入場料 一般 500円 高校生以下、障がい者(介助者含む) 無料

名古屋市市民ギャラリー 矢田 (南文中小劇場)

2023 あいち・平和のための戦争展実行委員会
〒461-0004 名古屋市中区東1-22-26 民主会館4F 電話 052-931-0070

↓★実行委・日朝協会『平和の命簿』



17 旧国家総動員関係死亡者名簿 法
第34条第2項該当者名簿
者等) (愛知県)

行政文書 > 厚生労働省
> 戦没者等関係関係
> 総動員関係死亡者名簿
[請求番号] 平27厚労022
所| 分館 (作成部局) 引継接
課 厚生省引継推進局推進課
28年05月28日 - 昭和30年0
<件名一覧があります>

2023 あいち戦争展

証言コーナーで

中学生から九十年代まで
重いお話をうかがいました

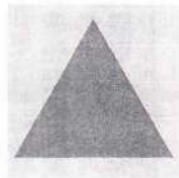
★KHさんより、夏恒例の自作団扇『蘆橋夏熟』【図】をいただく。



★戦前軍需工場だったW社のオーナー直系WHさん(女性)が、栄・大須の書籍を求めに来場。同社のあった中区岩井通りでの思い出を語る。「別の地にある遺品類を見て貰ってよい」とも。

★某氏、去る七月三〇日、守山区小幡南三での、陸自第一〇三不発弾処理隊による不発弾(米国製二五〇キ)撤去処理に立ち会う。(七月三十一日付「中日」)
★某氏が語る。非戦闘員の表示 オレンジ地に青色の正

三角形【図】。東京都国民保護計画、ジュネーブ諸条約等にあて、防衛省・自衛隊の国民保護規定になし。



★ST氏夫妻が語る。縁戚者の作手村墓石【図】一九四五年三月二五日鍋屋上野での空襲死。



★N中学での、映画『武器なき戦い』観賞などの平和学習が話題に。同中学生(三年

女子)が、展示パネルの前でメモしながら時間をかけているのを見て、「熱心に見ているんだね」と声をかけると、「いえ、見ているんじゃないくて、調べてるんです」との返答がありました。

★THさん(女性)から親族の資料を預かる。①戦地からの書信 ②死亡告知書 ③遺骨伝達式ご案内 ④フライピジョン・インディアナ ⑤部落自活農場見取り図【図】 ⑥昭和七年上海出征記念写真帳(預かり証をお渡しする)。



★MJさんが「こんなの知ってる？」とスマホで披露。大須の妙善寺境内にある、江戸時代の『朝鮮通信使』案内板の下に取り付けられているハングル訳の案内版。

★OTさんが、国立公文書館データ/旧総動員法による死者(工場・学校)を詳細に閲覧そして提案。「ぜひ データベースに！」。

★某氏、「第6展示室で瀬戸

市の『顕霊誌』をみた。『平和の命簿』には、こうしたデータは反映しているか？」

★Sさん(女性、九一歳)

「朝鮮総督府役人だった父は、帰国後の戦後は、娘から見ても『懺悔』の日々でした。ご自身は戦後、大学で、薬科、化学を勉強。のち、市民運動、「あいち戦争展」にも参加されたこうした。

★HNさんが、「愛知における、戦前からの日・朝運動史の構想をねっている。良いヒントがあれば...」。居合わせた西秀成さんが、自著『戦前期・愛知県における在日朝鮮人の諸団体』(二〇一〇・五発行)【図】を「ご参考に」と渡す。



★KHさんの語った、在日朝鮮人帰国第一船時での出来事。「新潟の親戚女性が新潟港へ手伝いで行ったが、そこでこのヒソヒソ話『これで厄介者がいなくなった』に、唾然として、手伝いをやめた。」



韓日歴史正義 市民募金

八月十四日午後、韓国光州市内で『韓日歴史正義の市民募金伝達式』(主催二歴史正義の平和行動他)がひらかれた。強制動員の生存者二人とその家族、市民らが参加。日本からは、『ほうせん花』の韓国公演を目指す関係者らもかけつけた。

『強制動員市民の会』の李国彦理事長は、市民募金活動開始からわずか四〇日間で、五億ウォンを超えたとも続と同活動の継続を発表するとともに、「日本の加害者による、強制動員の謝罪・補償がなければならず、韓国政府が考える、『第三者償還方法』に同意することはできない」と表明した。

【写真】名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟支援する会の高橋共同代表が李国彦理事長に応援基金を伝達した。

日帝強制占期の強制動員被害者が大法院判決を通じて獲得した法的権利を消滅させるために、政府が進めた弁済供託が裁判所によってブレイキがかかる中、政府は日本企業に謝罪を強制できないという立場を、裁判所に明らかにしたと伝えられた。政府が事実



韓国政府「謝罪強要不可」。日本企業の立場代弁 光州地裁「事件判決金は損害賠償債権。 加害行為者が被害者に損害賠償しなければ」

上、日本企業の立場を代弁したことになる。

八月十七日、光州地方裁判所によれば前日の十六日、民事四四単で姜愛蘭(カン・エラン)判事は、行政安全部傘下「日帝強制動員被害者支援財団」の供託不受理決定に対する異議申立を、棄却する決

定を下したと伝えられた。

これに先立って、七月三日、同財団は日本企業の責任を免除する政府の弁済案を受容しない被害者と遺族を相手に、弁済供託手続きを開始した。供託は債権者が債務者の債務を受領しない場合、債務の対象である目的物を管轄する

供託所に任せて、債務の免除を受ける制度である。

政府は去る三月六日に発表した解決案を通じて、日本企業の参加が全くない基金を用意して、日本企業が支払うべき賠償金を、この寄金から財団を通じて支給するという構想を明らかにした。

この対象者十五人のうち、二人の被害者と二人の被害者遺族が政府解決案に反発して、財団が支給する金額を受領しなかったし、以後財団は彼らを相手に、この金額を受け取りに行けという弁済供託を実行した。

政府は弁済供託を実行すること自体で、被害者の債券がなくなるのではないと説明したが、弁済供託の目的自体が供託を進行して債務者の債務をなくす、すなわち債権者の立場からは債務者に対する債券をなくすものである。

このように供託を通じて、日本企業に対する被害者の債券をなくそうとした政府の計画は、裁判所によってブレイキがかかった。光州地裁はこの七月四日、財団の供託が有効でない、不受理決定を下した。

【李洋秀氏訳文の一部】

731部隊資料の新発見

朝鮮民主主義人民共和国
ピョンヤンからの
通信



日本帝国主義の反人倫的 犯罪を告発する有力な証拠

朝鮮対外文化連絡協会

【編集者まえがき】本欄は、我が国とは未国交状態にある朝鮮民主主義人民共和国の立場や日朝関係をきむ諸見解を理解できるように、同国の対外文化連絡協会（ピョンヤン）を通じて日朝協会愛知県連（名古屋）に直接送られる情報・資料をそのまま紹介する欄です。

【朝鮮民主主義人民共和国
ピョンヤン 2023年8月10日】
原文／日本語

日本が犯した反人倫的犯罪を立証する資料が引き続き発見されています。先般、日本のある学者は第二次世界大戦の時期に悪名を走らせた日本の細菌戦部隊である731部隊の構成と職員名簿、部隊長だった石井四郎に対する資料が詳細に記録された政府の書類が見つかったと公開しました。

日本で過去の細菌戦実行関連の政府の書類が見つかったのはけっして驚くことではありません。今まで発掘、公開された資料だけでも枚挙にいとまがありません。大陸侵略期間、日本が731部隊だけではなく、1000部隊、516部隊などの秘密部隊を組織して細菌兵器、毒ガスなどの実験に躍起になっていたのは周知の事実です。この度、見つかった資料はかつて日本の政府、軍部が組織的に、体系的に、意識的に犯した反人倫犯罪を告発するいまひとつの有力

な証拠となります。731部隊の戦犯たちは敗戦後もアメリカの庇護の下、細菌兵器の研究および開発、生産を中断することなく続けて来ました。朝鮮

戦争の時期にはアメリカの細菌戦実行に直接加担して朝鮮人民に不幸と苦痛を強要しました。

日本は731部隊の細菌戦実行をはじめ過去の反人倫的犯罪行為について回避しえない責任を負っています。にもかかわらず日本は過去の犯罪行為について深甚に謝罪し反省するかわりに、それを正当化し血なまぐさい罪悪の歴史を覆い隠そうとしています。

歴史の暗部を抱えたままでは明るい未来を期待できないでしょう。日本の過去の清算は国際社会の要求であり歴史の正道です。

【編集者注】

本稿でいう「資料」の一部

2023年 7月16日 (金)

731部隊 職員表発見

日本書 各部隊構成や氏名明示

一部を無断転載する歴史的資料の発見は、戦後70年を超えて初めて明らかになった。発見された資料は、細菌戦部隊の構成や職員の名前、所属部隊、階級、職責などが詳細に記載されている。これは、これまで知られていなかった重要な証拠であり、日本の戦時体制における細菌戦の実態を明らかにする上で極めて重要な役割を果たしている。

この発見は、国際社会に日本の戦時体制における反人倫的犯罪の深刻さを改めて示している。また、戦後70年を超えて初めて明らかになったという点も、この資料の重要性をさらに高めている。

本稿では、この発見された資料の一部を紹介している。詳細については、本欄の別の記事を参照してください。

排外主義の蔓延

関東大震災での朝鮮人 虐殺と安倍首相の朝鮮 バッシング

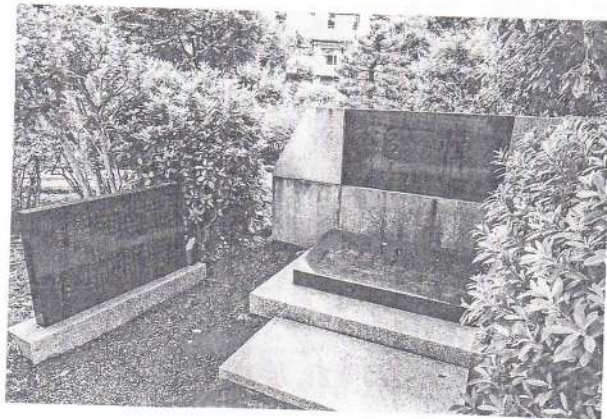
伊藤 孝司 (フォトジャーナリスト)

かねてから思っていたことがある。安倍晋三首相が異常なほど力を入れて推し進めた朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)に対する極端なバッシング。それによって変わってしまった日本社会の状況と、関東大震災で朝鮮人らが虐殺された時の状況と同じではないかということだ。

二〇〇二年九月一七日、小

泉純一郎首相が平壤(ピョンヤン)を訪れ、金正日(キム・ジョンイル)国防委員長と会談した。官房副長官として同行していた安倍は首相に対して、拉致被害者について「安易な妥協をするべきではない」と主張したという。金正日委員長は、日本人拉致を認めて謝罪した。

それによって、両首脳は「日



朝平壤宣言」に署名。これで国交正常化に向かうはずだった。しかし、「拉致被害者の生存八人死亡」という内容に、日本国内には大きな衝撃が走った。これをうまく「利用」したのが安倍だった。朝鮮に対する異常なバッシングが始まった。

安倍は最初に朝鮮に対する独自制裁を主張し、「万景峰

(マンギョンボン)92号」の日本への入港を禁止しようとした。この船への乗船取材をした私を、安倍は街頭演説で何度も批判。また一時帰国した拉致被害者らを、朝鮮へ戻すことにも強く反対したとされる。

二〇〇六年九月に、安倍は朝鮮への強硬姿勢によって首相になった。朝鮮の核実験に対する国連安保理決議の可決のために積極的に動く。そして二〇一二年に首相に返り咲いてからも、次々と朝鮮に対する独自制裁を実施。日朝間の「ヒト・モノ・カネ」をことごとく止めるという極端な措置にとどまらず、朝鮮学校の無償化除外などの在日朝鮮人への陰湿で異常な嫌がらせを続けた。拉致問題を、政権維持に使ったのだ。

日本社会の空気は、完全に「北朝鮮敵視」となった。安倍首相による朝鮮敵視政策が次々と実施される中で、筋違いにも日本の朝鮮学校が標的にされ、嫌がらせや脅迫を受

けた。安倍首相の朝鮮政策を厳しく批判していた私は、屋外を歩く時には周囲に気を付けていた。

バッシングの対象は朝鮮にとどまらず、中国や韓国や日本で暮らすブラジル人などへと拡大した。安倍による極端な朝鮮バッシングによって、日本社会が敗戦後に少しずつ克服してきた排外主義が、一気に蘇って蔓延してしまったのだ。

日本は明治以降、海外で領土を戦争や武力を背景にして次々と獲得。台湾（一八九五年）・南「樺太」（一九〇五年）・朝鮮（一九一〇年）・「南洋群島」（一九一四年）での統治において、そこで暮らす人々を「2等国民」「3等国民」として扱って差別した。

朝鮮半島を戦場とした日清戦争と日露戦争では、朝鮮人に対する迫害と殺りくを繰り返した。植民地支配や侵略のためには、そこで暮らす人々

を人間として扱わない排外主義政策が不可欠だったのだ。

そうした日本の状況の中で、一九二三年九月一日を迎える。この関東大震災での死者・行方不明者は十万五千人。「社会主義者と朝鮮人が放火し井戸に毒を入れた」というデマがすぐに拡大。三日には「内務省警保局」が「朝鮮人は各地に放火し爆弾を所持し放火する者あり。嚴重なる取り締まりを加えられたし」との電文を海軍船橋送信所から各地方長官へ送った。これが行政機関や新聞などで拡散した。

政府がデマを否定しなかつたため、殺害を容認する空気がつくられた。各地で自警団が結成されたが、その中には地域の警察が主導して組織されたものもあった。

デマを信じた自警団や警察軍が多数の朝鮮人・中国人

と社会主義者を虐殺。陸軍の中には、混乱に乗じて社会主義者を殺害しようとする動きがあり、憲兵隊の甘粕正彦らによって大杉栄・伊藤野枝・大杉の六歳の甥である橘宗一らが殺害された。

「内閣府」中央防災会議が二〇〇八年に「災害教訓の継承に関する専門調査会」報告書を公表。関東大震災での虐殺事件について「加害者の形態は官憲によるものから、官憲が保護している被害者を官憲の抵抗を排除して民間人が殺害したもので多様」とし、その死者は「関東大震災による死者数の一・数パーセントにあたる」と推計している。つまり約一〇〇〇人から数千人だと考えられる。

朝鮮に対する国を挙げての異常なバッシングに、メディアや社会が批判どころか検証

さえしない日本。二〇二〇年には「川崎市ふれあい館」に、「在日韓国人をこの世から抹殺しよう」と書かれたハガキが届いた。翌年には、「名古屋韓国学校」や京都府宇治市のウトロ地区の家屋が放火された。インターネット上には、在日コリアンを標的としたデマやヘイトクライムが横行している。

関東大震災では、善良な市民がデマを信じて次々と朝鮮人たちを殺害した。そのことに正面から向き合つてこなかった日本社会は、再び排外主義の蔓延を許してしまった。在日朝鮮人などへの極端な攻撃にとどまらず、朝鮮や中国などへの軍事行動さえいとわれない危険な状況になりつつある。

【写真説明】
都立横綱町公園の「朝鮮人犠牲者追悼碑」
（二〇二三年七月一日撮影）

歴史の心

第7講 高麗の輝き その1

金宗鎮

高麗(九一八〜一三九二)は朝鮮史上、最初の統一国家である。

高麗といえば、高麗青磁、高麗人蔘、『高麗大藏経』金属活字の文化財が、世界に冠たるものとして後世に伝わる。高麗人蔘などは、今も愛飲される東方医学の薬草である。筆者も、ここ三〇年来服用しており、また一点の高麗茶碗を家宝として手元に置く。

首都の開城は、現在世界遺産として認められ、観光都市でもある。まさに、天高く麗しい古都である。

現在、世界中の国が朝鮮を 코리아と呼びならわすのは、この高麗(コリヨ)からである。

1 中央集権的封建政治

高麗は理念としての仏教を、国家仏教として、中心にすえた。同時に儒学を官吏育成の学問となし、科挙(国家試験)制度を実施した。科挙によって、文臣・武臣を登用

した。両班(ヤンバン)階級の形成である。科挙の試験科目は儒学である。

当時、仏教は人間の内的生活、精神生活を主眼とし、来世生活に資する宗教であり、儒学は齊家治国、修身治己の学、政治経済に関する学であった。よって、儒・仏が並立していた。

だが、現代風に云えば、仏教は「イデオロギー」であり、儒学は「学術」の地位にあり、高麗は仏教イデオロギー国家であった。

A 高麗は中央集権的封建制度を強化するために、①量田・造籍。すなわち土地と民の掌握。②耕地の拡大。③田柴科の実施。田は田畑、柴は山林を、科は官吏の等級によって、支配体制を確立する土地制度。④郡県制。約五百の地方に中央から官吏が派遣。これらは「科挙」によって選抜された。⑤兵制を確立。中央軍四万、地方軍十萬。⑥金属貨幣鑄造。「葉錢」(ヨ、チョン)として通用。

B 国家的仏教行事
燃燈会と八閔会を国家の仏

教大行事と定例化し、多くの国々からの参列を許した。

C 『八万大藏経』

高麗は東方の文化国として威信を内外に示すためにも、また仏教思想の統治イデオロギーとして安定させるためにも、この大仏典を印刷した。木版約八万枚の字数は五千万字を超える。今日の二〇〇字詰原稿用紙にすれば、三十万枚に近いという。『古代ハイテク百話』孫済河・啓明書房)

日本は足利幕府以来一五〇年間に、高麗大藏経を求めて六二回もの使者を送っている。大内、今川、大友、宗氏は朝鮮王朝に求め続けた。名古屋博物館を見学した際、仏像の前に孫と一緒にいる私たちを見て、学芸員が近づいてきた。質問に答えるとの声に、思わず「大藏経」の扱いを問うた。学芸員「?」調べておく」との答があった。

2 金属活字の発明へ

木版印刷は、木活字に印刷

を続けた後、金属活字の発明に至る。人類の文化史上、最も大きな出来事の一つである。

高麗の金属活字の発明は『新印祥定礼文跋尾』(李奎報)によって明らかに記録されている。一四五〇年、ドイツのヨーハン・グーテンベルクの発明よりも二〇〇年も早い。もつともドイツのそれは凸版印刷である。

金属活字は宋でも試みたが、油性のインクが解決されずに実用化されなかった。清の時代に入って、朝鮮からの帰化人よって金属活字印刷が始まった。

現存する最古の高麗活字本は『直指心経』(一三七七年)はパリ国立博物館に保存されている。金属活字の発明は、まさに「必要な発明の母なり」にある。

グーテンベルクも高麗も、宗教書の普及の増大にあった。バイブルと經典の発行の広がりが必要としたのである。

「ドイツ史」はグーテンベルク博物館に、金属活字の発

明はコーリヨに始まり、ドイツはそれを凸版技術化したと記す。「日本史」はグーテンベルクだけを記す。「日本史」は語らないが、バス停『高岳』(名古屋市東区)前の、印刷会社の看板にはきちんと書かれているのを見かけた。砂漠にもオアシスが点在するようだ。

3 美の創造・高麗磁器

高麗は高い製陶の技術によって、世界の陶磁史上最上の技術の完成を見ることになる。高麗はの美しき青磁と象嵌の手法を駆使して、世界に冠たる陶磁の境地を開いたのである。

青磁とは青色をした磁器の表現であるが、新羅や渤海の時代に、らしきものが出土しているが、高麗時代にその伝統を生かして、完成を見た。翡色青磁の創造だ。

宋の使臣・徐兢は一一二三年高麗旅行記四〇巻を書いて、宋王に奉じた。徐兢は、宋の青磁にまさるとして、作

調の丁寧なこと、細微なことで、模様の多様なことを記している。それは古今に冠絶する精品であった。

高い象嵌の技法も世界の人々を感じさせた。これは螺細工芸や金属工芸の新羅手法を受け継ぎ完成させたものである。

高麗青磁と朝鮮陶磁は、ヨーロッパと日本にコレクションされ、今でも秘蔵されている。イギリスの大英博物館、ビクトリア・アンド・アルバート博物館、アメリカのシカゴ美術館、ボストン美術館、ワシントンのフリーア美術館、その他。日本のコレクシヨンは論及するまでもない。日本においては、茶道で高麗茶碗はその貴重なこと、圧倒的である。「雲鶴」「井戸」なるは至宝と同義である。

高麗の美意識
東アジアの美
世界の美なり

歴史の心、世界の心

大杉栄・伊藤野枝、橘宗一少年虐殺から100年

第49回

橘宗一少年墓前祭/懇談会

◇期日 2023年 9月 16日 (土)

◇墓前祭 ◎午後1時～ 於：日泰寺墓地 墓碑前

*地下鉄名城線「自由ヶ丘」駅より西へ約300m。墓前祭への参列は、墓碑へ直行するか

「日泰寺」山門入口付近へ集合して下さい。

*マイクロ・バスで12時30分に出発し墓碑までご案内します。

「橘宗一少年の墓碑保存会」

連絡先 〒466-0849 名古屋市昭和区南分町 2-6

◇懇談会 ◎午後2時～ 於：日泰寺「香積台」の間

*報告 「墓碑保存会の経緯と今後について」懇談会

*参加費 500円

「アルス」内 ☎ 052-842-7641

※地元世話人 *TEL 090-8866-4015 (竹内宏一)

*メール fwkf8694@nifty.com (〃)

乾元重寶

朝鮮貨幣史小考
最初の公鑄銭は鉄銭

山崎眞臣

私の子供の頃は、記念切手の収集が大流行していました。切手カタログは年々評価額が、上昇し一喜一憂していました。

そんな中で私の切手収集を忘れさせてくれたのは祖父でした。

いろいろなコインをプレゼントしてくれたのです。六、七十枚ほど有ったと思います。明治・大正のものに混じって、穴あき銭もありました。後で調べてみると、ほとんどが中国の唐・宋・明のものでした。なぜ、中国のコインがたくさん混じっているのか不思議でした。

日本のものでは、寛永通宝、朝鮮のものは常平通宝もあ

りました。

その後、小遣いを溜めては収集に努めると共に、はっこうされた事情等々、裏面史も知るようにになりました。例えば、

我が国最初の貨幣と云われる「和同開珎」は、『武蔵国秩父で自然銅が発見され、その銅をもって貨幣を造った』。そんな逸話めいた話を今でも信じている方も多いと思いますが、実際は、少量の自然銅の産出で、大量の銅を必要とする貨幣は造れません。我が国の銅鉱石は、ほとんどが硫化銅で、当時の精錬能力では不可能で、『和同』を造ったのは輸入銅でした。当時の日本は、唐の制度を

図①



図②



模倣し、国家体制の充実をアピールすることは、古代国家である平城京の象徴の一つが、貨幣制度の導入でした。

しかし、なかなか一般には浸透せず、政府は苦慮しますが、後には貨幣の利用停止も宣言され、再び物々交換の世界に戻ってしまいます。

貨幣制度が復活するのは、十二世紀後半、日宋貿易によって大量の宋銭が入り、それ以後中国貨幣の流通が盛んとなり定着します。

さて、朝鮮ではどうだったでしょうか。

最初の公鑄銭は高麗の成宗十五（九九六）年です。鉄銭でした。

「乾元重寶」（図①）がそれで、「乾元」とは天の道と云う意があり、天下の通用銭を示したと思います。

この鉄銭は、欠ける、破れる、錆びる、手触りが悪いなど、民衆の受けは悪いものでした。そのためか、大量には造られなかった様で、今ではマニアの間では高額で取引され、一枚十万円でも手に入らないと思います。

次に朝鮮で銅銭が発行されるのは肅宗七（一一〇二）年まで待たねばなりません。その間は、中国銭が流通していませんでした。

少額貨幣を銅で造ることには、紀元前二千年ほど前に、初めて中国で発行されて以

関東大震災から100年

「冤死同胞慰霊碑」建立75周年及び関東大震災100周年記念追慕祭
2023年9月1日(金曜日) 追慕祭 午前11時～慰霊碑前

1948年9月1日に、覚王山日泰寺に建立された「冤死同胞慰霊碑」をご存知ですか?
毎年9月1日の11時から、私たちは追慕祭を行ってきました。
朝鮮半島と日本の歴史を振り返り真の友好関係を築くための意義深い追慕祭になりつつあります。
今年、関東大震災から100年を迎えます。天災から人災を犯した歴史を二度と繰り返さない誓いを、ともにできたら幸いです。今年の追慕祭にはより多くの方々に参加していただき、冤死した方々へ思いを馳せていただけたら幸いです。

当時石碑は、堀ヶ池付近に建立されました。
在日本朝鮮人連盟愛知本部は、この石碑を朝鮮式廟堂に収めました。1983年の移転の際に取り壊され、1995年に現在の廟堂が建立されました。



「とどけ! アリランのうた」プログラム

- 午前10時15分より30分間 日泰寺霊堂広場
- ◆愛知教職員合唱団きぼうの合唱「9月1日私たちは集う」
- ◆こどもにえがおを〜ひらき座チンドン隊「その日が来れば」
- ◆北条義信の弾き語り唱「フラットウォーターブルース」
- ◆李貞琴と金秀光の歌とアコーディオン「リムジンガン」
- ◆全員で「アリラン」



この日にアリランの歌と一緒に歌いませんか?
世界の紛争の終結、朝鮮の統一を願いながら...

朝鮮人虐殺の真実から、日本の歴史修正主義を問う 9.1集会

TEL: 090-8866-4015 (竹内)
□「韓国併合」100年東海行動実行委員会
中村区郡古野1の44の17 鳩田ビル2F
Eメール 31demo1919@gmail.com
□「在日韓国民統一連合愛知本部」

日 2023年9月1日(金)
時間 18:30~20:30(予定)
場所 イーブルなごや ホール
地下鉄名城線「東別院駅」下車 東に徒歩3分
参加費 500円

劉永昇さん

「風媒社」編集長
1963年 名古屋市生まれ、在日コリアン3世。早稲田大卒
雑誌編集者などを経て98年より現職。『<不逞鮮人>とは誰か〜関東大震災下の朝鮮人虐殺を読む』などの著書。

降、銅貨とするのが常識的なことでしたが、なぜ高麗は鉄銭の発行をおこなったのでしょうか。
まず考えられるのは、銅の枯渇でしょう。なぜ銅の不足が起きたのでしょうか。
高麗初代の王建は六七歳(九四三)年に死亡しますが、その一ヶ月前に「訓要十條」を定め、子孫代々伝える様

に遺言してゆきました。その十條の内、三ヶ條迄、仏教に關するもので、
建国は仏の加護によるものである。国がしかりと寺院を保護・管理する事
寺院の創建は風水に従い乱立しない事
仏教の祭事である燃燈会と八關会を開催する事

と、国の指針して仏教を重視する様に訴えています。
その為、仏像の鑄造、梵鐘など仏具には大量の銅が必要で、消費されました。結果、銅の不足が生じ、大切な本尊も鉄で造られる様にもなってしまうました。
各地の博物館には鉄製の仏像が多く展示されているのを、ご記憶の方も多いと思

ます。
②は、鉄仏の優品で開城市の高麗博物館蔵(高さ一七寸)
以上の様に、銅不足の主なものは仏教によるものと考えられ、それと共に鉄の鑄造技術の向上が鉄銭発行を促す一因だったと思います。(つづく)

論評

日本の植民地主義は 清算されたのか

―国歌から見た考察―

文 光 喜

愛知朝鮮学園理事長

日本人は八月六日、九日、一五日は一生忘れることが出来ない。広島と長崎に原爆が落とされた日であり、終戦・敗戦記念日である。八月一五日は、朝鮮・韓国人にとつては解放・光復記念日である。これほど、はつきりとした区分がなされているのも、この日を境に歴史が大きく動いたことを物語っている。

この記念日の行事で必ず歌われるのが国歌である。国歌には世界的に、国家君主や王室への称賛や祈願の歌があり、君主が公の場や重要なイベントに姿を現す場合に演奏されることが多いとされる。中には憲法や法律、伝統

によって定められた行進曲や賛美歌の様式を王室歌としている「ヨルダンの国歌」やオランダの「ヴィルヘルムス」(一五六八〜七二年)、スペインの「国王行進曲」(一七七〇年)、中国の「義勇軍行進曲」(二〇一七年正式に施行)などがあるという。

戦後七八周年を迎え、東アジアに住む身近な日本と南北朝鮮の国歌の出自や歴史的経緯から植民地主義が何故、清算されないのかを探ってみたいと思う。

韓国の愛国歌について

一、東海が渴き果て 白頭山

が磨り減る時まで 神の護り給う わが国 万歳

『繰り返し』

むくげの花三千里 華麗な山河 大韓人よ、大韓を永久ならしめよ

二、南山の老松 鉄の鎧をまとい 風霜の変わらざる

は 我等の気性なり

『繰り返し』

三、広い秋の空 雲ひとつなく澄み渡り 輝く月は我等の精神 一片丹心なり

『繰り返し』

四、この気性とこの心で忠誠を尽くさん 辛くとも楽しくとも国を愛さん

『繰り返し』

韓国「愛国歌」は八月

一五日「玉音放送」が流れると、国民服やモンペを脱いだ白衣の朝鮮人が、ソウルの街を闊歩するときに歌われたという。正式には、一九四八年光復節の独立記念式典で歌われたのが始まりとされている。作詞者は不明であったが、二〇一三年に尹致昊(『朝鮮日報』二〇一三年六月一八日掲載)であることが判明したという。

曲は一八九六年、独立門定礎式の際に、アメリカ宣教師が賛美歌として伝えたスコットランド民謡 (Auld Lang Syne) (日本では「蛍の光」のメロディ)としていたが、作曲は安益泰(スペイン国籍二〇〇九年『親日人名辞典』掲載)が一九三五年に作曲した管弦楽曲『韓国幻想曲』終曲の旋律で作曲したものを一九四八年の光復記念日に正式に採用して歌われた。

歌詞は東海が渴き果て、白頭山が磨り減る時まで、神の護り給う、わが国大韓

と、一節が始まるが、周知のごとし、「韓」のいわれは、日本が雲揚号で一八七六年に不平等な日朝修好条規(江華条約)を結び、朝鮮の侵略に対抗するために李氏王朝の高宗が一八九七年一〇月に国号を大韓と改めたのが始まりという。チンギスハーンのハーンとも関連するというが、韓(ハーン)の文字は大きいとされ、周辺の大国にも劣らないという意味から大韓帝国と名乗り、一九一〇年日韓併合によって滅亡したが、解放後、復活の意味を込めたと言われている。韓国は一九八七年以降民主化され、二〇一八年の統計で、一人当たりのGDPが四万二、一三五ドルと日本を追い抜く経済大国になりつつある。二〇二二年、政権を握った尹錫悦大統領は「すでに数十回過去の歴史について反省と謝罪を表明している」日本とは、関係改善を進める一方、朝鮮とは韓米日の連携を強化して抑止

力を強化する等対決の姿勢を強めている。

朝鮮民主主義人民共和国の愛国歌

一、朝は輝け大地 黄金の恵みあふれ

みあふれ

三千里うるわしわが祖国

五千年の永き歴史に

『繰り返し』

きらめく文 化育てし

人すべて捧げて この地

とわに守らん

『繰り返し』

二、白頭の精気を継げる勤労

の聖なる気性 真理で固

めしこころ世界にさきが

けん

『繰り返し』

怒涛もおしわけ 人民の

樹てし国ぞ 富あふれる

この地 とわに栄よ

『繰り返し』

(祖国平和統一委員会の翻訳)

朝鮮民主主義人民共和国の愛国歌は、金日成主席が一九四六年九月二七日『一日も早く愛国歌を創作しなければならぬ』との教えを実践し、

共和国創建の前年の一九四七年に詩人朴世永が作詞、金元均(一九一七〜二〇〇二)が作曲し、試聴会を開き創作したとされる。抗日武装闘争を五年間、展開してきた金日成主席はソ連軍の参戦による、日本帝国主義の滅亡を機に広範な統一戦線で労働党・人民軍・人民政権を創り上げ、民族の解放と自主独立国の国歌として誇り高い朝鮮民族の永き歴史に初めて声高々と歌い上げた。金元均は朝鮮の国民的愛唱歌『金日成將軍の歌』や日本で話題になった『イムジン河』の作曲家でも有名である。南は「大韓帝国」の時代を想い浮かべながら、自らの運命を神に託すのに比べ、朝鮮は人民の力で国を守り育てていく強固な意志を感じ取れるのには、大きな違いを感じられる。

日本の国歌「君が代」

日本の国歌「君が代」は、九〇五年醍醐天皇の勅による『古今和歌集(挽歌)』からその詞をとっているとい

われている。

壹、君が代は 千代に八

千代に さざれ石の

巖となりて 苔の生

すまで

貳、君が代は 千尋の底

のさざれ石 鵜のゐ

る磯と あらはるる

まで

参、君が代は 限りもあ

らじ 長浜の 真砂

の数は よみつくす

とも

「君が代」は一九九九年、公式に「国歌」に定められたが、明治維新後、教育を通して、たえず天皇制とリンク(連関)されてきた。明治政権は、旧来の政治を一新し、「神武創業」を理念的根拠として、神道国教化政策を掲げ、「我朝上古ノ制(略)天子ガ元帥トナリ、丁壮兵役ニ甚ユル者ヲ募リ、以テ不服ヲ征ス」るとして、天皇は陸海軍を統率する大元帥となった。

【次号につづく】



鑑賞のおすすめ



【その 87】

韓国映画
『スタートアップ!』
(2019年)
監督: チェ・ジョンヨル

伊藤 一郎

(koreamovieculture@yahoo.co.jp)

朝鮮文化を知る会

ドロップアウト後の軌道修正
苦悩するが悲観しない

本作品は二〇一九年に韓国で公開された。韓国語の原題は『始動』である。映画のあらすじは以下のとおり。

高校卒業資格を得ることを願う母親と少年テギルは対立していた。テギルの家庭は元バレーボール選手の母と一人の母子家庭。母親の願いとは裏腹に、学校に行く気もなく、勉強も嫌いなテギル。高校を中退し、母親から受け取った高校卒業資格を得るための予備校の学費で、中古のバイクを購入するありさまであった。ヘルメットも被らずに中古のバイクで暴走したため、警察にも拘束され、母親に身柄を引き取ってもらう。

ある日テギルは、「1万ウォンで行くことができる」ところを目指して、目的もなく高速バスに乗り込む。バスが到着したのは、ソウルから一五五キロメートル離れた全羅北道群山市(注1)。

しばらく街を歩くと、「チヤジェン麵 三〇〇〇ウオンの看板にひかれて偶然入ったチャンポン飯店で、テギ

ルは住み込みの店員として働くことになる。

そこでテギルは異様なオーラを放つおかつ頭の料理人のコソクに出会う。世間知らずなテギルの生意気な態度に対し、社会のルール、人に対する言葉遣いなどを教え込むコソク。怖いもの知らずだったテギルはチャンポン飯店でさまざまな人たちと出会い、人としての生き方を学んでいった。

一方で祖母と二人暮らしのテギルの親友サンピルは、早くお金を稼ぎたい一心で社会に飛び込んだが、サンピルが得た仕事は悪徳金融の取立て屋であった。サンピルは、取立て業務の最中に意図せず重症を負う。そのうちテギルの母親がテギルを大学に通わせるために手に入れたトースト屋の店舗が立ち退きを余儀なくされる。登場人物たちはみな、経済的な危機に陥る。

料理人のコソクを演じるマ・ドンソクは、今回の作品では通常の出演作品とは異なるキャラクターを演じている。



★全国各地の通信から

ピンクの部屋着に長髪。袋のままスナック菓子を抱えて食べながら、韓流アイドルの振り付けで踊るなど、通常のコワモテのイメージとのギャップが笑いを誘う(注2)。その外見と行動は、のちにコソクの意外な過去からの新たな再スタートであったことが後に判明する。

この一見特徴のない映画が描こうとしたしたのは、コロナ危機での厳しい経済状況を経験した韓国社会の直面している社会問題である。映画には、若い時にはスポーツ選手であったが現在は日々生活に追われている人、生活のためにほとんど元本よりも利子が高い借金に苦しむ人など、自分の希望を押し殺して不本意な人生を生きている人々が多

く登場する。

韓国では一度学歴社会から離脱すると人生の選択が著しく狭まるといふ。無事大学に入学しても、大学のランクが常に付きまとう。また大学を卒業しても、必ずしも就職先が保証されるとは限らない。十代の子供を持つ韓国の親は、家計の多くを占める学費を捻出するために、無理な仕事もしようとする。

本作品は、学校や社会から一度ドロップアウトすると軌道修正が困難な韓国社会の中で、若者の直面している問題が描かれている。

映画の最後は、必ずしも登場人物たちにとってハッピーエンドとは思えないが、悲観的な表情をするものは皆無であり、最後まで驚くほどポジ

ティブである。

本作品の題名『スタートアップ!』が示すように、一見やり直しがきかない社会において、韓国の厳しい学歴社会や就職難といった問題をコメディで演じた登場人物の姿には、人生の再度のスタートを無条件に肯定的に捉える制作者のメッセージが込められているように思える。

(注1) 全羅北道北西部に位置する港灣都市。日本統治時代に米の積出港として栄え、多くの日本人が暮らしていた。現在も庭園を有する日本式家屋や日本式寺院が残っている。また市街地には赤レンガ作りのヨーロッパ風の近代建築も見られる。また当時の日本人が好んで植えた樹木も残って

いる。

日本・百済の連合軍と唐・新羅の連合軍との間で戦われた白村江の戦い(六六三年)は、群山市を流れる錦江で行われた。群山市には、映画『八月のクリスマス』のロケ地もある。ハン・ソッキュが演じた主人公の青年が営む写真館も復元されているという。

(注2) 韓国系アメリカ人のマ・ドンソクはもともと、アメリカでミュージカル俳優としてデビューしていた経歴がある。ミュージカル俳優とデビューする前のマ・ドンソクは、アメリカの大学で体育学を学び、フィットネストレーナーやボディビルダーとして活動していた。

日朝協会

【埼玉版】二〇二三・八・一

○ワールドワーク『姜大興さんの足跡を辿る』

○韓国の大学生 関東大震災

朝鮮人犠牲者の墓前で慰霊

○平和行進・日朝国交回復で北東アジアの平和を掲げて

ほか

【群馬版】二〇二三・八・一

○関東大震災藤岡事件朝鮮人

犠牲者追悼集会

○「歴史の現場から」平和公園から「桜隊」「平和学習」

へく内藤真治

○八月や六日 九日 十五日

新井忠夫

地元グループ紙誌 坪井見

いま面白い市民運動の情報誌

●あらくさ

(第一二四号) 二〇二三・八
発行 名古屋法律事務所 / 名古屋市中村区)

○「友の会・記念講演」 「日本」
つてどんな国? / ヤバい日本
をあぶり出す / 本田由紀さん
○安保法制違憲愛知訴訟の判決を受けて / 金井英人
○年金裁判 / 舞台は最高裁へ / 酒井 寛

●革新・愛知の会

(第三三八・三三九号) 二〇二三・八・十 発行 平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会 / 名古屋熱田区)
○「インタビュー」 坪井由美さん / 基準値の三倍 超 / P

ほか

FAS 汚染検出 / 健康への影響も / 汚染源の解明を!
○大軍拡・大増税 NO! / くらしと平和を守る懇談会を開催 6・10
○くらしと結んで地域・職場から旺盛な革新懇運動を

●日中友好新聞・愛知県連版

(二〇二三年八月一日 発行 日中友好協会愛知県連 / 名古屋千種区)
○山本慈昭さんのお孫さんとランチ会
○「中国ものしりコーナー」
世界で最初の紙幣は中国で生まれた

ほか

●平和新聞・愛知版

(二〇二三・八・五 編集 愛知県平和委員会 / 名古屋市東区)
○多国間共同訓練 対中国を念頭に戦時医療体制 / 訓練は中止せよ! と小牧基地に申し入れ

ほか

○七・一九講演集会 / 国民に知らされずに悪法がまかり通る
○渥美半島・田原市で平和委員会の再建を / 草の根の運動を地域から

●年魚市 (あゆち) 風土記

(第十五号) 二〇二三・八・一 発行 戦争遺跡研究会 / 名古屋熱田区)
○戦争と軍用動物 / 清水啓介
○学校の中の歴史遺産 / 安城市立明和小学校の事例 / 神谷友和
○昨年の活動「年魚市風土記」紹介

ほか

●なごや市職

(第二三八八号) 二〇二三年八月一・十一合併 発行 名古屋市職員労働組合 / 名古屋市中区三の丸)
○「二〇二三年定期大会特集」あきらめない時代へ / 要求を職場から声にだしていこう!

ほか

●明日へ

(第八号) 二〇二三・七・二五 発行 東海市の戦争を記録する会 / 東海市富木島町)
○「太佐山高射砲陣地」あいち戦争展の展示
○知多市岡田の防空壕 / 東海の戦跡巡り・防空壕
○三菱重工大江工場から鈴鹿へ

ほか

●草の根

(二〇二三・八 発行 原水爆禁止愛知県協議会 / 名古屋市中東区)
○県下すべての自治体で禁止条約に参加せよの意見書をあげよう! / 学習・交流会を開催
○日本政府 に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名 / 県内八七〇五四筆 / 二〇二三年七月十日現在
○小山美砂さんを講師に 2 世代 3 世交流会開催

ほか

【表紙】三浦雅子